

施策評価シート【重点施策】

個別施策Ⅱ－（３）

子どもの健やかな成長を支援する

基本的な方向性

地域・保育所・学校において、育児支援、学習支援・施設整備、相談しやすい環境を整え、子どもの成長につながる機会・体制を充実します。

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値						31年度 目標値
		計画 策定時	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
子育て支援センター・つどいの広場の利用者数【年間】	人	57,138	58,164	64,066	62,680	61,223	52,522	65,000
介助員数	人	76	77	84	101	115	122	85

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・心や体に悩みや課題のある児童・生徒及びその保護者に対し、教育相談・訪問相談を行い、児童・生徒の心理的安定及び問題の解決につなげました。また、学校を巡回して移行支援、継続支援を行い、発達障害等の児童・生徒がスムーズに学校生活を過ごせました。
- ・特別な教育的配慮が必要な幼児・児童・生徒に対して、就学相談・指導や通級指導を通じて、適切な支援を行いました。
- ・市採用スクールカウンセラー13人を、県採用スクールカウンセラーと合わせて小・中学校全校に派遣し、教育相談の充実と他機関との連携の活性化を図り、児童・生徒の心理的安定及び問題の解決につなげました。
- ・県のスクールソーシャルワーカーを市内3中学校区へ配置するとともに、市採用スクールソーシャルワーカー3人を学校の要請に応じて派遣することで、問題行動等の未然防止や早期解決に向けて校内支援体制を構築し、改善・好転を図りました。
- ・適応指導教室での小集団活動と教育相談により、教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行い、心や体に悩みをもつ児童・生徒及びその保護者の精神的な負担が軽減しました。
- ・保育所や幼稚園等への訪問支援や学校への巡回相談を実施することで、障がいの早期発見・早期療育を図るとともに、就学移行支援を行いました。
- ・子育て支援センター及びつどいの広場で、子育てに不安や疑問を持つ子育て世代からの相談に応じることで、子育て世代の育児不安の解消を図りました。
- ・サン・サンスタッフ（学習支援補助員）を全小・中学校へ派遣し、学習・生活面で適正かつ細やかな支援を行うとともに、サン・サンスタッフ（学校司書）は、平成24年度から全小・中学校へ配置を行い、学習活動や読書活動の充実と学校図書館の整備及び充実を図りました。
- ・（医療的ケアを行う医療介助員を含む）介助員の派遣により、障がいのある幼児・児童・生

徒がきめ細かな支援を受け、安心・安全な学校（園）生活を送ることができました。

- ・学校施設の維持管理のための修繕や各種委託のほか、老朽化した施設や教育環境の機能維持のため、受水槽の改修(大住中・山下小)、屋上防水改修（金目小）等を実施しました。また、花水小学校中棟校舎と、神田小学校南棟校舎の大規模改修工事を実施しました。